

Doc. No.: NR071029

2007年10月29日

パソコンの保存ファイル閲覧ソフト「LeafThrough」を発売 ～ファイルを開くことなく同時に内容を確認できる、世界初のファイル検索・閲覧ツール～

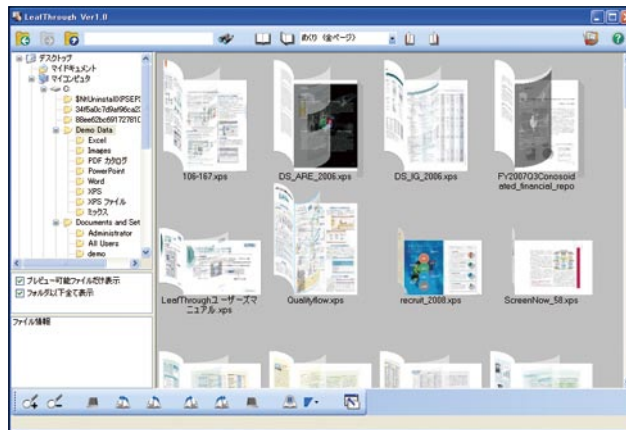
大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のソフトウェア・テナインカンパニー(社長：笠松 敏雄)はこのほど、パソコンに保存されている複数ファイルのページの自動めくりが可能で、ファイルを開くことなく同時に内容を確認できる、世界初の検索・閲覧ソフトウェア「LeafThrough(リーフ・スルー)」を開発。2007年11月1日から、日本国内で販売を開始します。

近年、パソコンやデジタルカメラなどの普及によって多くの書類がデジタル化され、企業や個人で扱うデータファイルの量が膨大になってきています。また、さまざまなソフトウェアの流通に伴い、ファイルの保存形式も多様化しています。こうした書類のデジタル化・多様化は今後もさらに進むと見込まれ、ファイルの管理はますます複雑で困難になると予想されています。そのため、機能的でありながら誰でも手軽に利用できるファイル検索システムへの需要が拡大しており、現在、オフィス向けのファイル管理ソフトウェアの市場規模は、国内だけでも約2,500億円*といわれています。

今回発売する「LeafThrough」は、ファイル管理を取り巻くこのような動向を背景に、印刷製版業界で長年培ってきた当社独自の高速画像処理技術を駆使し、汎用のファイル管理ソフトウェア分野に応用展開したもので、従来のようにファイルを1つずつ開いて中身を確認することなく、選択した複数のファイルをすべて同時に、本のページをめくる感覚で閲覧できるソフトウェアです。特別なパソコン環境を必要とせず、ファイル作成に使用したアプリケーションソフトウェアを起動させることなく、また、データ形式の異なるファイルが混在していても、目的の情報を迅速に見つけ出すことができます。さらに、画像だけを一覧表示させてアルバムのように利用したり、素材カタログやデータベースとして活用できるなど、ビジュアルツールとしてデザイン、出版、建築のほか、医療業界などさまざまな分野の多様なニーズにも対応します。

当社は、海外市場も視野に入れて「LeafThrough」の販売を展開するほか、2007年12月にはサーバータイプのリリースも予定するなど積極的な販売活動を進め、初年度は1,000万円、2009年度には5億円の売り上げを見込んでいます。当社は今後、独自の技術による関連ソフトウェアを順次開発し、ファイル管理ツールを総合的に提案することで、より快適なパソコン環境の構築に貢献していきます。

* IDC Japan(株)調べ。2006年度実績。



「LeafThrough」の画面

☆ この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo/)

<販売開始日>

2007年11月1日

<国内希望販売価格(消費税別)>

5,000円

<年間販売予定数>

1,000本(初年度)

8,000本(2008年度)

<動作環境>

OS : Windows XP Home Edition (SP2)
Windows XP Professional (SP2)
Windows Vista

推奨メモリ : Windows XP 512MB以上
Windows Vista 1GB以上

推奨CPU : Windows XP 1GHz以上
Windows Vista 1GHz以上

空きディスク容量 : 1GB以上

* Windows XP、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。その他、文中に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

■ ソフトウェア・テナインカンパニー

大日本スクリーン製造株式会社の社内カンパニーの一つ。当社の各事業カンパニーやグループ会社からの受託開発をはじめ、調査・企画から開発、顧客対応まで、ソフトウェア開発に関するあらゆる業務を担う。100%の完成度と顧客満足を追求したソフトウェアを開発したいという思いから、「テナイン」(99.9999999%の純度を表す言葉)と名付けられた。